

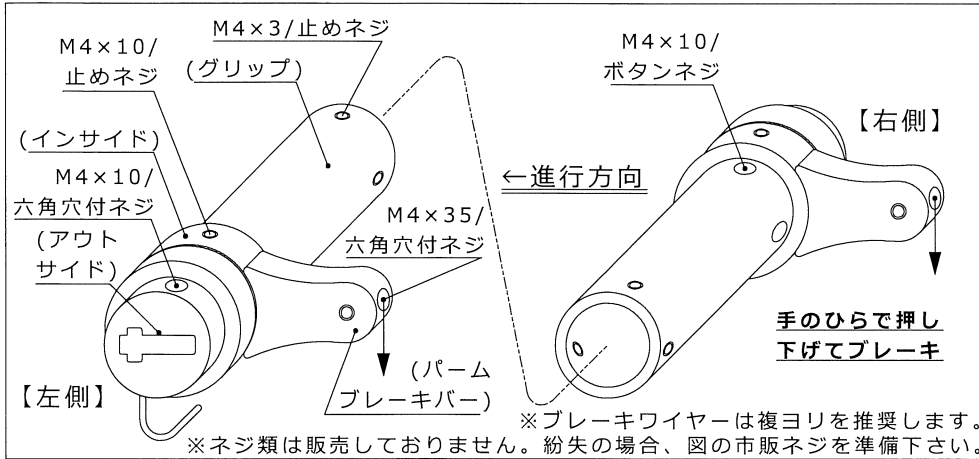


パームブレーキバー / Palm Brake Bar

ブレーキ調整説明書

取り付け・作業前に必ずお読み下さい

<パームブレーキバー / 各部名称と使用ネジ>



<パームブレーキバー / 商品説明>

- パームブレーキバーは従来のブレーキレバーに変わる新ブレーキです。
- パームブレーキバーは指先で握る操作ではなく手のひらで操作します。
- パームブレーキバーは押下げる操作のためあまり力を必要としません。
- パームブレーキバーは意匠や特許を取得しています。BAA試験も合格。

○販売店に依頼する場合はこの "ブレーキ調整説明書" を提示下さい。



注意
General caution

- 従来の操作方法と違います。十分に試運転を行なって下さい。
- いかなる場合の怪我・事故において一切の責任は負えません。
- メンテナンスが出来る方が取り付けと調整を行なって下さい。

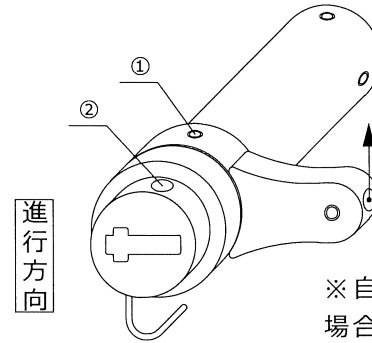
©PMT PAT. P



注意
General caution

- 調整は細心の注意をして下さい。

<ブレーキワイヤーの取り外し>
図は左側ですが作業は左右共に同じです。

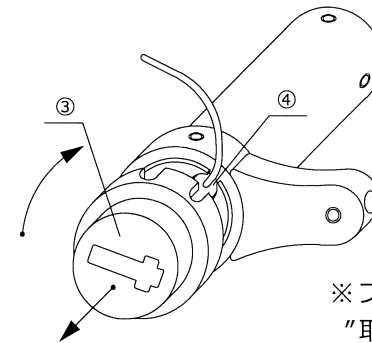


ブレーキシュー側のワイヤーをブレーキワイヤー側の取扱説明書に従って必ず取り外して下さい。

①このネジを締めてパームブレーキバーの回転を止めるか進行方向へ止まるまで維持して下さい。

②のネジを取り外して下さい。タイプにより下側方向からネジを取り付けている場合もあります。

※自転車によってはアウターワイヤーの長さが足りない場合があります。十分な長さで併せて交換して下さい。



③アウトサイド部品を内に押し抜けない様に進行方向へ回転しタイヤが見えるまで回して下さい。

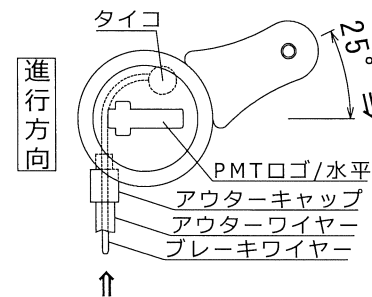
④アウトサイド部品の溝がタイヤの位置まで来たその状態を維持したまま外側へ引き抜いて下さい。

内の摺動部を清掃しφ10mmや溝ヘグリスを塗布し、ブレーキワイヤー側取扱説明書で利きの調整下さい。

※ブレーキワイヤーの取り付け方法については上記の "取り外し" に対して逆の要領で作業を行って下さい。

<パームブレーキバーの位置>

図は左側ですが位置は左右共に同じです。



・パームブレーキバーとワイヤーや挿入方向を確認して下さい。位置関係が合わないと機能が発揮しません。

・パームブレーキバーはハンドルの先端より50mm程出っ張ります。ハンドルも交換する場合注意下さい。

・推奨パームブレーキバー角度は約25°=ロゴ水平です。調整後、M4x3止めネジでしっかり固定して下さい。

※ブレーキ部分は自転車を安全に走行させる重要な機能です。作業調整後は必ず動作確認して下さい。またワイヤーは疲労します。1年毎に交換下さい。

<使用工具> 2、2.5、3六角レンチ <問い合わせ> support@pmt.tokyo
PMT/TOKYO_PB48WD MADE IN JAPAN
Ver.3.01_2017.07.01 ©PMT PAT. P